

# 連合愛知安全衛生センターだより

愛知県勤労者安全衛生センター 〒456-0002 名古屋市長久区金山町1丁目4-18 ワークライフプラザれある 3F  
TEL(052) 684-0003 FAX(052) 684-0303 連合愛知ホームページからも閲覧できます <http://www.rengo-aichi.or.jp>

## 安全衛生センター 第1回理事会を開催

2月3日(水)「第1回理事会」をWeb会議にて開催し、2022年度の年間活動計画について確認がされました。



### ◆近藤理事長挨拶

コロナ禍の状況下において、安全衛生センターの取り組みも苦慮しているが、活動方法を工夫して取り組みを進めていきたい。労働組合の究極の目的は、「組合員とその家族の幸せの追求」です。誰もが「安心」して、「安全」に働くことの出来る「職場環境づくり」です。本年も働く仲間の「安全の確保」と「健康維持」のため、引き続きの取り組みをお願い致します。

### ◆主な議題 ※議事・確認事項は、全て承認されました

#### ○議事

- ①2022年度 年間活動計画について
- ②連合愛知「第93回愛知県中央メーデー」への参画について
- ③「第1回安全衛生担当者研修会」の開催について

#### ○確認事項

- ①「第2回理事会」の開催について
- ②令和4年度「労働保険年度更新研修会」開催について
- ③愛知労働局安全衛生労務専門家会議委員の変更

#### ○報告事項

- ①安全衛生センター報告 ②労働保険事務組合関係
- ③関連団体関係 ④労災保険審査参与会
- ⑤心の相談室

### <理事会終了後、理事研修会を開催しました>

講師：連合本部 労働法制局 小菅 元生 局長  
内容：連合労働安全衛生取り組み指針（2018年度～2022年度）の最終年度にあたり、指針と取り組み内容を再確認させていただきました。

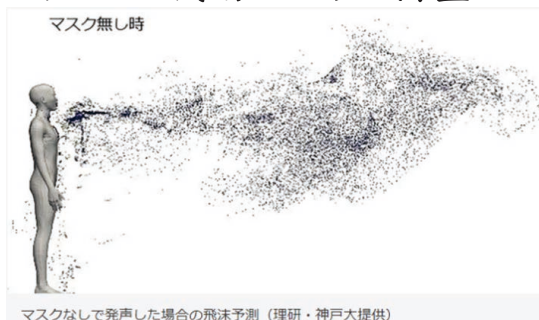
毎月発行している『安全衛生センターだより』は連合愛知安全衛生センターHPに掲載しています  
<https://anzen0003.rengo-aichi.or.jp/dayori/>  
過去の『だより』も掲載していますので  
職場での研修会等に、是非ご活用ください。



## 2022年度安全衛生センター年間活動計画

月	安全衛生センター	行政・関係団体等
1月		12月15日～1月15日 年末年始無災害運動
2月	3日 第1回理事会 15日 労災保険特別加入者の確認	
3月	労災保険特別加入者変更 手続き	自殺対策強化月間
4月	14日 労働保険年度更新研修会 23日 第2回理事会 労災保険組合 第31回総会	6日-15日 春の全国交通安全運動 28日 労働安全衛生世界デー
5月	第1回安全衛生専門家会議	31日～6月6日 禁煙週間
6月	6月～7月 2021労災防止キャンペーン 3日 第1回安全衛生担当者研修会	全国安全週間準備月間
7月	労働保険年度更新申告書提出	1日～7日 全国安全週間 熱中症予防強化月間 愛知産業安全衛生大会
8月	5日-6日 第3回理事会 ※現場研修	食品衛生月間
9月	22日 第4回理事会 第2回安全衛生担当者研修会	全国労働衛生週間 準備月間 健康づくりセミナー 10日～16日 自殺予防週間 21日-30日 秋の全国交通安全運動
10月	連合全国セイフティネットワーク集会(予定)	1日～7日 全国労働衛生週間 19日～21日 全国産業安全衛生大会(福岡)
11月	安全衛生センター第34回総会 第2回安全衛生専門家会議	過労死等防止等 啓発月間
12月		職場のハラスメント撲滅 月間

## シリーズ 職場における新型コロナ感染防止対応と対策 ⑫



### ○マスクの着用は感染防止に極めて有効

今月2日、理化学研究所(理研)において、スーパーコンピュータ「富岳」を使い、オミクロン株の感染リスクについて研究結果が、発表されました。感染者がマスクなしで15分話すと、50センチの距離で対面した人はほぼ100%感染すると推計され、マスク着用時も50センチ以内に近づくとリスクが生じるとの結果です。

詳細は理化学研究所HPを参照 [HP](#)



# 私たちの職場における取り組み事例

## 第12回

井崎 理事 (自動車総連 全トヨタ労働組合連合会)

### ■安全衛生の取り組み

組合員とその家族の命を守れる活動を推進する。

そのために、私たちの労連では労働災害・疾病の撲滅を目指し誰もが安全で安心して働けるための職場づくりや安全意識の高い人づくりに取り組んでいます。

具体的な取り組みとして、職場づくりの観点では加盟組合で発生した災害事例をタイムリーに共有しています。

展開した情報を基に加盟組合にて類似工程の確認や日ごろのKY活動等で活用してもらい、類似災害の未然防止活動につなげています。

また、人づくりの観点では、安全に関する知識の習得だけでなく、心身の不調者に対し、相談・対策に結びつけるスキル習得を身に着けてもらうために安全衛生・心身の健康セミナーを開催し、労働組合としての相談機能強化も行っています。

今後の活動として昨年、安全防災減災アンケートを実施しましたが、巨大地震が想定される中でも、ご家族含めた全員の命を守れるように安全衛生だけでなく減災・防災に関する取り組みも進めていくことが必要であると分かりました。

このため、機関誌等を活用し、減災・防災の情報を展開することで意識高揚に繋げていきたいと考えています。全トヨタ労連、加盟組合ともに一体となり、全トヨタ労連に集う全ての仲間が安全で安心して働ける職場にする、という強い意志を持ち引き続き取り組みを進めていきます。



井崎 理事

## 2022年1月度 愛知県の死亡災害発生状況 <2月8日現在速報値>

6人 (0人) 対前年同期2人 (0人) ※ ( ) 内は交通事故による死亡者の内数

業種・規模	被災者	事故の型	災害状況
接客娯楽業 50～99名	70代 清掃係 7年	はさまれ・巻き込まれ 産業用ロボット	墜落・転落階段さん橋 清掃作業のため階段を降りていたところ踏み外して転落し、急性硬膜下血腫にて死亡した。転落した際に、頭部を強打し脳出血が起きたと推定されている。
輸送用機械等 製造業 100～299名	50代 船舶ぎ装工 39年	崩壊・倒壊	事業場内の資材置場で、2.8t門型クレーンを使用して約1tの鋼鉄製タンク部品を搬送台車に乗せる作業を行っていた。台車に乗せた後、タンクに取り付けられている足場に乗って玉掛用具を外したところタンクがバランスを崩して倒れ、下敷きになった。
金属製品製造業 30～49名	50代 鉄骨工 8年	激突され クレーン	被災者は同僚2名とトラック荷台上で鉄骨材を積込む作業を行っていた。他の労働者が2.8t門型クレーンで鉄骨材を吊り上げたところ荷振れが起こり、振れた荷が被災者の胸部に激突したため、衝撃で荷台から転落した。
道路貨物運送業 10～29名	50代 移動式クレーン運転 6年	飛来・落下	玉掛用具 住宅建築工事現場において、積載型トラッククレーンを使用して合板の束(長さ3m×幅1m×厚さ46cm、重量約950kg)を、建築中の建物2階に吊り込む作業をしていたところ、荷を吊っていたベルトスリングから合板が落下し、荷台上でクレーン操作を行っていた被災者が下敷きになった。
その他の建設業 50～99名	50代 作業者技能者 20年	有害物質との接触 有害物	工場建屋へ部品を取りに行った被災者が倒れて亡くなっているところを発見された。工場内には化学合成用のタンクがあり、メンテナンス後の窒素充填作業を行っていたが、蓋の閉止が不十分だったため漏洩した窒素が建屋内に充満して酸欠となった可能性が高い。
建築工事業 (木建以外) 9名以下	50代 建設作業員 10年	墜落・転落 開口部	RC7階建てビルの解体工事現場で、5階部分の解体作業を行っていた際に、床面にあけたガラ投下口(1.8m×1.2m)に落ち、約10m下へ墜落した。